

雨の日が多い季節になりました。傘をさして登園する様子や、「雨が好きなようです」とお家の方の声をヒントに、雨を知ろうという活動が始まりました。雨が降る日でも、子どもたちにとっては楽しい要素や発見がたくさんあります。これから、雨の日も楽しくなりそうですね。

雨の日は実際に外に出て本物の雨に触れて、実体験！！

水道からたくさんのお水が！「あめだ〜！」と近くにあった傘を持ってきて水がかからないように工夫する様子が見られました。雨=傘という情報が結び付いたようです。

「きいろのかさがない」と傘に色を塗り始めました。

タオルを傘に見立てています。

①「なんだろう？」

②「触ってみよう！」  
「やってみよう！」

③「面白い！楽しい！」

④「こうやってみよう！」（試し）

⑤「こんな風になったんだ！もっと知りたい！」

⑤自然と♪ながぐつマーチ♪を口ずさみ、リズムをとりながら身近なものを使って音を出すなど、各々に表現しています。

④♪ながぐつマーチ♪に合わせて、さらに楽しさを体験していきます。

③視覚からも情報を伝え、雨を知っていきます。

②室内にも丸を描き、さりげなく手作りの傘と長靴を用意しておくことで、水たまりに見立てて遊び始めました。経験を遊びに活かしていますね。

①水たまり・雫を発見！

本物の傘に触れてみました。「こうやったらお水かからないよ」「いっしょにはいろいろ」と会話も弾みます。

「カエルさん、かさいっしょ〜！」

子ども自身の手で学びが得られる！

食育だより

毎日の食事で育つ子どもたち～園と家庭がつながる食育～

5つの子どもの像

- ・お腹がすくリズムのもてる子ども
- ・食べたいもの、好きなものが増える子ども
- ・一緒に食べたい人がいる子ども
- ・食事作り、準備に関わる子ども
- ・食べ物を話題にする子ども



食育はあらゆる世代に必要なものですが、**子どもに対する食育は、心身の成長・人格の形成に大きな影響を与えます。**食育は、保育所等だけで完結するものではありません。保育所と家庭と一緒に、一人ひとりの子どものための食事と食育に取り組んでいきましょう。

食事が楽しい！食べたい！

そのような気持ちが育まれるように、大人側の工夫が大切です。

昨年度は、富士祭りをきっかけにお祭りごっこへ発展！

家庭でのお祭り経験が、遊びに発展する様子が見られたことから、実際に焼きそばを作ったり、かき氷を作ったりして、食育を行いました。「焼きそばを食べたよ。どうやって作るのかな？作ってみたい！」そんな声を拾って、実際にクッキング！そこから、かき氷、とうもろこし、わたがし…どんと活動が広がり、子どもたちの食べてみたい、作ってみたいという気持ちが育っていきました。

今年度も、主体的に食育に関わる機会を設けていきたいと思ひます。今後も、園での食育の取り組みをドキュメンテーションでお伝えしていきます。家庭での様子をぜひ聞かせて頂けると嬉しいです！

～昨年度の様子～



参考：全国保育士会 <https://www.z-hoikushikai.com/>

ほけんだより

～熱中症を防ぐために～

熱中症は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたら、場合によっては死亡することもあります。

対策として…

- ①こまめに水分補給
- ②暑さを避けること

子どもは体温の調節能力が十分に発達していないので、気を配る必要があります。しっかりと対策をとり、暑い夏を乗り越えていきましょう。

参考：厚生労働省

おたんじょうびおめでとう

27 ちなつさん 3歳

今月の行事予定

1	身体測定
5	七夕の会
10.24	英語教室
10	避難訓練
4.11.18.25	体操教室